



第51号 木曽川町連区



地域づくり協議会だよ!

[発行日]令和4年4月1日 [発行者]木曽川町連区地域づくり協議会
西木曽川町内割田一の通り27(一宮市木曽川庁舎内) 電84-0005
[メールアドレス]k-chiki@orthime.ne.jp
[ホームページ]<http://138kisogawa.org> 木曽川町連区で検索してね♪



こちらからどうぞ

声かけ体験練習

思いやり部会

思いやり部会では、各小学校区順に「声かけお助け隊」として高齢者認知症徘徊模擬訓練を行っています。

市内では唯一の事業で注目されているところでしたが、残念ながらコロナ禍による感染拡大防止のため、2年続けて中止となり、次年度に引き継ぐため認知症役のかたをお招きし、1月11日に公民館において思いやり部会内で声かけ体験練習をしました。認知症の人は見た目が何も変わらず、どのようなサポートが必要か中々わかりません。町内で何か困っていそうなお年寄りを見かけたら気軽に声を掛け合って、高齢者がふだんから安心して外出できるまちづくりを目指すのが目的です。

【認知症役のパターン】

Ⓐ氏名のみ言える Ⓑ「困っていない」「大丈夫ほっといてくれ」を繰り返す
男性、女性それぞれ4名のグループ別に2ヶ所で2回行った

【練習內容】

- ・何処か行くのかな？近所の人？ ⇒ うなずかない
 - ・いい杖だね!! カバンは大事？ ⇒ ・・・
 - ・買い物の途中？何処へ行くの？座る？ ⇒ あっちと指をさす座った等



【反省点】

- ・質問が早い 多人数で質問しない ⇒ 不安全感が取り除けない
 - ・質問の何が? という何がわからない ⇒ 少し離れた所から目を見て優しく話す
 - ・服装、何歳ぐらいかメモを取る ⇒ 警察等への連絡
 - ・笑顔で接する ⇒ 相手が安心感を得る

部員一同この声かけ体験練習を通して、思いやりのあるまちづくりの一歩になれば幸いです!!



女性学習部「アロマキャンドル作り」を開催しました

木曽川町公民館

12月16日（木）午後1時30分より木曽川公民館女性学習部主催の今年度最後となる女性学級が開催されました。この日は、本来、社会見学を予定していましたがコロナ渦の影響により中止とし、代わりにクリスマスにちなんだ「アロマキャンドル」の創作を企画しました。

講師にロゼカービングスクールの野村美枝先生をお招きして、アロマキャンドルの創作手順を説明していただきました。

参加者の皆さんには、初めての経験もあり、口ウが固まるタイミングを見計らい、ドライフラワーの飾り付けを真剣な趣で取り組んでいました。

アロマキャンドルが完成すると、みなさん笑顔で個々の出来栄えを見せ合っていました。

素敵なクリスマスプレゼントが出来ました。

来年度も、趣向を凝らした企画に取り組んでいきますので、お楽しみに♪



成人学習部教養講座「お薬全般のお話し」を開催しました

木曽川町公民館

12月15日（水）午後1時30分より木曽川公民館成人学習部主催の今年度最後となる成人学習講座が開催されました。

講師に薬剤師の野々垣常正先生をお招きして、お薬全般の講義をしていただきました。薬と病気の関係や新薬とジェネリック薬品の違い、お薬手帳の役割など普段病院・医院などで聞いてはいますが、じっくりと話を聞くのは初めての方も多いようでした。薬は身近な物ですが、普段聞きなれない言葉など、丁寧に説明していただき、みなさん真剣な趣で聞き入っていました。

なお、この講座の内容は、ユーチューブ木曽川公民館チャンネルで聴講いただけますので、是非ご覧ください。

アドレスは

<https://www.youtube.com/watch?v=Zo1RB8GytdA>

または、ユーチューブから「木曽川公民館」で検索してください。



お国自慢!! 里小牧のご紹介

里小牧区長 佐塚 篤

里小牧の牧は、牧場…などに使われているように、草原の地に付けられている名前。木曽川が運んだ砂で、自然につくられた砂地で、その上に葦や雑草が生え生い茂っていた小さな草原地帯でした。土地の開発が進むと人口も増加し草原地に次第に家を建て住民が増えingきました。そんな頃、誰いうとなく、小牧の里と呼ぶようになっていきました。

里小牧には電車道という通りがあります。賀茂神社から木曽川西小学校を北進、北方町へ通っている道を電車道と呼んでいます。現在は、名鉄尾西線の玉ノ井駅で終わっていますが、昔は北方宝江まで通っていました。

木曽川町内にはじめて私鉄道が敷設されたのは1914年、尾西鉄道が新一宮から奥町、玉ノ井、木曽川橋（宝江）の区間8.7キロを開通したのが始まりです。1925年尾西鉄道は名鉄と合併して名鉄尾西線になりました。はじめは、蒸気機関車でしたが、1924年電化になり、柳橋（名鉄名古屋始発駅）から木曽川橋に直通の急行を運転した時期もありました。

更に宝江は対岸の笠松港と同様、物資の荷揚げ場所でもあり、県内各地に運び出す必要から、尾西線を木曽川橋から堤防外の川渕まで延長して「木曽川港駅」をつくりました。川を下ってきた舟からは、石、砂、砂利などが陸揚げされて貨物車に積み替えられて各地へ工事用資材として運ばれていきました。常滑方面からは、常滑焼などを満載した大船が接岸して荷揚げされている様子も見られたそうです。この付近には陶器、植木鉢、庭石を売る店も出来ました。

木曽川西小学校の南門にある大石もこの電車で運ばれてきた思い出の石です。



地域における私の役割

主任児童委員・人権擁護委員 浅野佐和

こんにちは。黒田小校区の主任児童委員と、人権擁護委員を務めている浅野佐和と申します。2月にFMいちのみやの連区23に出演しました。緊張しつつ、活動内容を主に話しました。後日、違う連区の民生児童委員さんが出演された時にパーソナリティの方が私の事を取り上げて話をしてみえた時は活動が伝わっていくことを実感し、とてもうれしかったです。良い機会を頂きありがとうございました。

主任児童委員は子どもに関する事を専門的に担当する委員で民生児童委員さんと協力して活動しています。地域の子ども達が元気に暮らせるように見守ったり、子育ての不安や妊娠中の心配事の相談・支援等を行っています。あるご家庭の相談を伺った時に「こんな役があるんですね。」って驚いてみました。主任児童委員は全国におりますが、認識が低いのを改めて思い知った時でもありました。活動をしつつ、アピールの大切さを感じております。

人権擁護委員の活動内容は、法務局等で行われる人権相談の相談役、啓発活動として主に市内の保育園や小学校に人権教室等を行ったりしています。人権。人としての人権、老人の人権、子どもの人権・・・人権といつても色々あるかと思いますが、みんながお互いを思いやり、認め合えればそれが人権尊重に繋がると思います。そしてそれは主任児童委員の活動にも繋がっていると思います。

少しでも地域に根ざした活動をしていきたいと思います。地域のみなさんのご理解ご協力、よろしくお願ひします。

地域の歴史・文化・自然を継承する出前授業

活気部会長 平林 哲也

活気部会では、町内3小学校で地域の歴史・文化・自然を継承する出前授業を行っています。

黒田小学校では、6年生を対象に「岐阜街道と三英傑」「黒田城と山内一豊」「正岡子規と見染塚」など、校区と深いつながりのある歴史を詳しく説明しました。ふだん生活している身近な地域の歴史を地域の大人が子どもたちに語り継ぎ、興味を持つてもらうことは、新しいまちづくりをしていく上でも大切な基盤となります。

木曽川西小学校では、6年生対象に太平洋戦争末期の「一宮空襲」について、実物の焼夷弾（木曽川町内に投下されたもの）や焼け跡の写真、被害を示す地図、体験記などの資料を使って詳しく紹介しました。戦争体験者が少なくなる一方の現在、子どもたちに戦争の悲惨さと平和の大切さを伝え続けることも地域の役目です。

3年生には「玉ノ井の由来」「玉ノ井駅はかつて終点ではなかった歴史」「雀のお宿の由来」「イタセンバラの生息地」「コハクチョウの飛来地」など、校区の歴史・文化・自然について詳しく伝え、身近な地域への理解を深めてもらいました。



木曽川東小学校でも、6年生対象に「一宮空襲」についての学習、3年生対象に「門間沼遺跡」「伊富利部神社古墳」「鎌倉街道」「岐阜街道」などの校区の歴史を学ぶと同時に、38年前の校区地図と現在の航空写真を比較し、どのように校区が変化してきたかを見つける学習を行いました。

地域が学校と協力しながら、子どもたちが身近な地域の歴史・文化・自然を知り、理解を深める機会を持つことは、将来の地域を担う人材を育てる上で非常に大切です。



地域づくり協議会では、令和元年7月に『ふるさと今昔』の冊子を作成し、全戸配布しました。みなさまにも、ぜひ地域の歴史を知る一助にしていただければ幸いです。